



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局・和歌山県

資 料 配 布

配布日時

平成24年9月20日

14時00分

件

名

近畿初

大規模地震・津波を想定した人員・重機輸送と
応急仮設橋設置訓練を開催
～近畿地整・海上自衛隊・和歌山県などが連携～

概

要

- 東海・東南海・南海地震により、紀伊半島沿岸部を中心に大規模な津波が想定されます。
田辺市から那智勝浦町間には高速道路が整備されていないため、国道42号が唯一の救援ルートとなり、地震や津波による集落の孤立や橋梁の流失などに備えた対策を進める必要があります。

- 近畿地方ではじめて、津波を想定した実践型訓練を、近畿地方整備局と和歌山県、串本町、那智勝浦町及び海上自衛隊などが連携し、地元住民など約120名で実施します。

【訓練の内容】

- ・避難者などの「人員輸送訓練」
- ・道路応急復旧用の「重機輸送訓練」
- ・「応急仮設橋の設置訓練」

【訓練の日時】

- 日 時：平成24年9月27日（木）
9時30分～13時00分
天候条件等により、訓練を中止する場合があります。
- 場 所：串本町「橋杭海水浴場」
那智勝浦町「那智海水浴場」、「那智漁港」
- 実施団体：近畿地方整備局、海上自衛隊、
自衛隊和歌山地方協力本部、
和歌山県、串本町、那智勝浦町

取 扱 い

-

配 布 場 所

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、和歌山県政記者クラブ、
和歌山県政放送記者クラブ、和歌山県地方新聞協会、
田辺記者クラブ、新宮中央記者会、新宮中央記者クラブ

問 合 せ 先

国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所
副所長 水野 浩次（内線 205） TEL 0739-22-4564（代）
和歌山県 県土整備部 道路政策課
副課長 庄司 勝、政策班長 小井 宣秀 TEL 074-441-3116（直）

道路応急復旧用重機輸送・応急仮設橋設置・人員輸送訓練 実施概要

1 訓練の目的

東海・東南海・南海地震により、紀伊半島沿岸部を中心に大規模な津波が想定されます。

田辺市から那智勝浦町間には高速道路が整備されていないため、国道42号が唯一の救援ルートとなり、地震や津波による集落の孤立や橋梁の流失などに備えた対策を進める必要があります。

近畿地方ではじめて、津波を想定した実践型訓練を、近畿地方整備局と和歌山県、串本町、那智勝浦町及び海上自衛隊などが連携し、地元住民など約120名で実施します。

2 実施団体

近畿地方整備局、海上自衛隊、自衛隊和歌山地方協力本部、和歌山県、串本町、那智勝浦町

3 訓練実施日時

平成24年9月27日(木) 9時30分～13時00分

※天候条件等により、訓練を中止する場合があります。

4 訓練場所

【会場①】串本町「橋杭海水浴場」

【会場②】那智勝浦町「那智海水浴場」、「那智漁港」

5 訓練実施内容

時 間	訓練内容
9:30～11:00 【会場①】 串本町	①重機輸送訓練〔海上自衛隊・近畿地方整備局〕 橋杭海水浴場にて、海上自衛隊LCAC艇にバックホウを積込み、海上ルートで【会場②】まで輸送。(9:30～10:30) ②人員輸送訓練〔海上自衛隊・自衛隊和歌山地方協力本部・和歌山県・串本町・那智勝浦町〕 海上自衛隊LCAC艇に避難者(串本町民、那智勝浦町民など約50人)が乗船し、海上ルートで【会場②】まで輸送。(10:30～11:00)
9:30～13:00 【会場②】 那智勝浦町	①重機輸送訓練〔海上自衛隊・近畿地方整備局〕 LCAC艇が「那智海水浴場」へ上陸し、バックホウを揚陸。(11:00頃) ②人員輸送訓練〔海上自衛隊・自衛隊和歌山地方協力本部・和歌山県・串本町・那智勝浦町〕 LCAC艇が「那智海水浴場」へ上陸し、避難者を揚陸。(12:30頃) ③応急仮設橋設置訓練〔近畿地方整備局〕 橋梁流出を想定し、水路に応急仮設橋を設置。(9:30～13:00) LCAC艇で輸送されたバックホウも使用。

※ 訓練の時刻は目安であり、進行状況により変更することがあります。

□ 訓練実施位置図



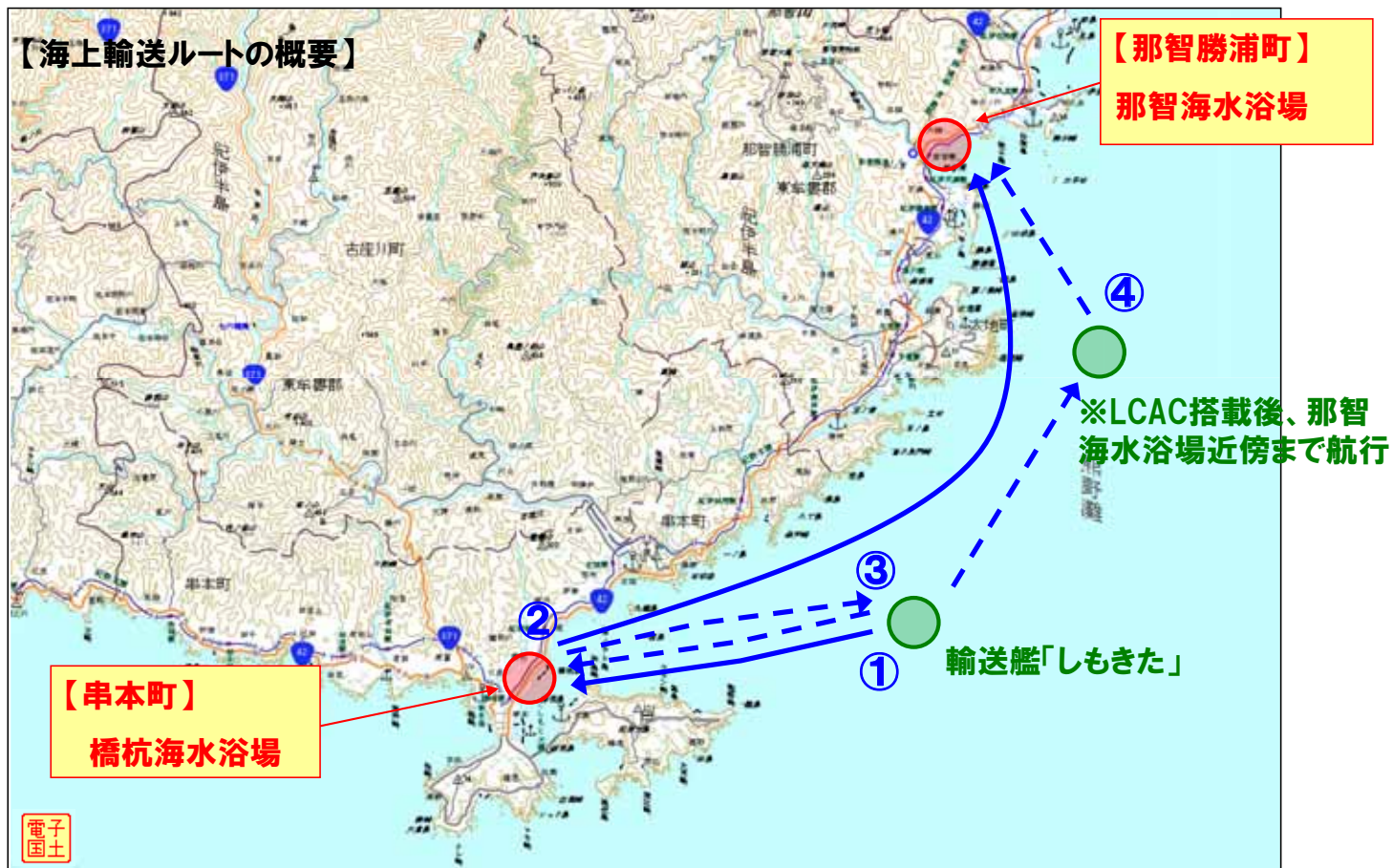
□ 訓練会場及び実施内容

○ LCAC乗船場所 ○ LCAC揚陸場所 ○ 仮設橋訓練場所

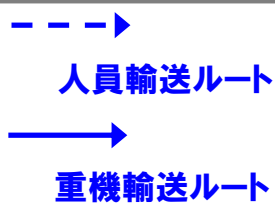
	会場① 橋杭海水浴場	会場② 那智海水浴場・那智漁港
所在地	和歌山県東牟婁郡串本町くじの川	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町浜の宮
訓練場所		
訓練内容	A. 重機輸送訓練 (9:30～10:30) (LCAC艇上陸、バックホウを積込み、海上ルートで会場②まで輸送) B. 人員輸送訓練 (10:30～11:00) (LCAC艇上陸、避難者が乗船し、海上ルートで会場②まで輸送) ※避難者…串本町民、那智勝浦町民など約50人	A. 重機輸送訓練 (11:00頃) (LCAC艇上陸、バックホウを揚陸し、応急仮設橋設置訓練場所まで移動) B. 人員輸送訓練 (12:30頃) (LCAC艇上陸、避難者を揚陸) C. 応急仮設橋設置訓練 (9:30～13:00) (橋梁流出を想定し、輸送されたバックホウを使用して、水路へ応急仮設橋を設置)

※ 訓練の時刻は目安であり、進行状況により変更することがあります。

- ☐ A. 重機輸送訓練
- ☐ B. 人員輸送訓練



※訓練ではLCAC2艇を利用。



A. 重機輸送訓練

『津波により橋が流出』
道路応急復旧のための重機を海上輸送

B. 人員輸送訓練

『串本町・那智勝浦町で孤立集落が発生』
孤立地域の住民を海上輸送

ー 使用船舶の紹介 ー

○輸送艦「しもきた」(海上自衛隊保有)
LCAC2艇登載可能。甲板にヘリポートを有する。



○LCAC:エアークッション艇(ホバークラフト)
海上自衛隊が保有する水陸両用の輸送艇。



□ C. 応急仮設橋設置訓練

【道路応急復旧のイメージ】

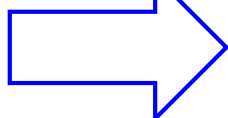


東北地方整備局HPより

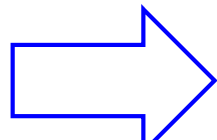
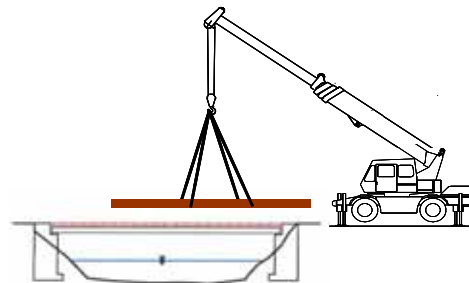
【紀伊半島沿岸部の道路応急復旧】



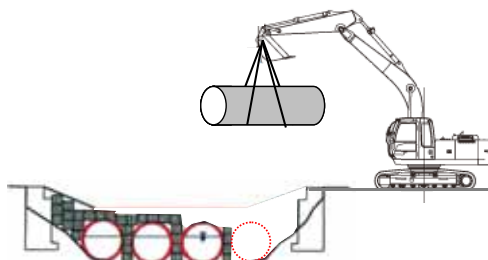
工事のイメージ



クレーンによる
応急仮設橋設置



バックホーによる
コルゲート管設置



復旧完了のイメージ



提供:東北地方整備局

『国道42号で橋梁が流出』
応急仮設橋を設置し、

緊急車両の走行を確保